

シリーズ石見銀山⑫ 町並み保存地区を歩く ～歴史を物語る寺社建造物の継承へむけて～

今年の夏は連日の猛暑となりましたが、みなさん避暑対策を工夫して町並み散策を楽しまれています。中でも緑豊かな木陰をつくる寺社は、その歴史性と合わせ多くの人々を引きつけているようです。

銀山の祈願寺や地域の氏神、大名や代官にまつわる寺社など、現在では跡地として伝えられる寺院もありますが、『銀山旧記』には「家数2万6千軒余、寺百か寺程も有之候由申伝ふ」とあり、またその人口は最盛期に20万人とも伝えられ、石見銀山にはかつてのシルバーラッシュの隆盛を背景に建設され、信仰を集めた多くの寺社が存在します（写真①）。



写真① 寺院跡へ続く石段（銀山地区）



写真② 清掃活動の様子（豊栄神社）



写真③ 保存修理の様子（城上神社）

寺社では中央部分が擦り減った石段や風化した柱や床、彩色を尽くした荘厳な天井、様々な表情の石像物などがみられ、これらは銀山の来歴や人々の暮らしに関わる信仰の様相を今に伝える地域の宝として大切に維持されてきました（写真②）。

しかし、近年ではこれら多くの寺社を支える担い手の減少や、老朽化した建造物等の修理費用の捻出など、寺社の存続と維持管理について課題を抱えるところも少なくありません。教育委員会では、平成23年度にこれら寺社建造物の破損状況の確認や修理の方針、維持管理の方策を考えることを目的として調査を行いました。また、寺社建造物の修理費用については、石見銀山遺跡の保全と活用を支援するために創設した「石見銀山基金」の活用がスタートし、今年度より保存修理工事への助成が始まっています（写真③）。

今後も石見銀山の歴史を物語る生きた資産である寺社建造物を先人たちの知恵や技術、工夫をふまえながら修理を行い、みんなでより良い状態として後世に伝えていく取り組みを進めていきます。

【問】 大田市役所石見銀山課 ☎0854-83-8133



←携帯電話のバーコードリーダーの機能で、こちらのQRコードを読み込んでいただくと、「らとちゃん」の投票ページに直接つながります。

らとちゃん劇場②

